

## 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



### 活 用 事 例



概 要	
学 校 名	柏市立松葉中学校
活用方法	「主体的に学び合う学習集団をつくるにはどのようにすれば良いだろうか～小グループ、協働を通じた表現力の育成を目指して～」という研究主題を掲げ、「実践モデルプログラム」の各過程を位置付けた授業づくりを行っている。特に、「広げ深める」の過程が充実するように、知識構成型ジグソー法等のグループ学習を工夫している。
成 果 等	各教科等において、小グループでの学習活動を日常的に授業に取り入れることで、「自分で取り組む」過程の個人学習が充実したり、「広げ深める」過程の対話が深まったりするなど、生徒の主体性や協働性の向上につながった。



同じ課題について考えるエキスパート活動

同じ課題を担当した生徒同士で課題の解決に向けて話し合うことで、その課題に対する考えを広げたり深めたりすることができた。



異なる課題について伝え合うジグソー活動

違う課題を担当した生徒同士で、それぞれの課題への理解を深めたり、新たな問いの発見をしたりすることができた。